地盤調査報告書

ザ・フォレスト袖ケ浦 新築工事

2020 年 3月

日本基礎地盤株式会社

- はじめに -

本報告書は、建設予定建物の基礎工選定資料を得る事を目的 として、スウェーデン式サウンディング試験による地盤調査を 実施した結果をまとめたものであります。

調査の実施に当たりましては、施主様を始め、関係各位には 種々の御協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

私共、日本基礎地盤株式会社は、適切な地盤調査を行い安心できる住環境を実現すると共に、環境保護を大切に考えております。その考えのもと、確かな技術と管理、研究開発を行い、日々努力しております。

2020年 3月

日本基礎地盤株式会社

代表取締役 杉山俊和



スウェーデン式サウンディング試験方法の説明

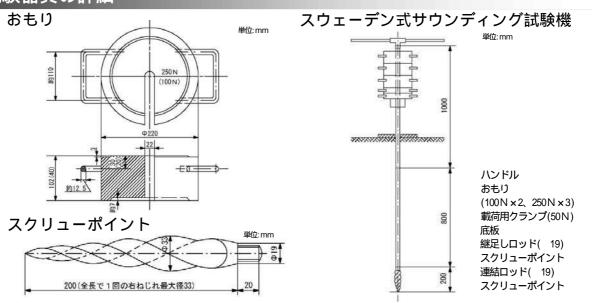
適用範囲

この規格はスウェーデン式サウンディング試験機を用いて、原位置における土の静的貫入抵抗 を測定し、その硬軟若しくは締まり具合又は土層の構成を判定する試験に適用する。

試験方法

- 長さ 0.8m のロッドの先端にスクリューポイントを取り付け、ポイント下端から 50 cmのところに クランプ下面を合せて載荷用クランプを固定し、底板を通して調査地点上に鉛直に立てて支える。 ここで地表面近くに測定のための基準面を設ける。
- 2 このままでロッドが地中に貫入するかどうかを確かめ、貫入する場合は貫入が止まった時、荷重 50N(5kgf)に対する貫入量として記録する。
- **3** 次に、100N(10kgf)のおもりを載荷用クランプに載せ、2 と同じ操作を行い、荷重 150N(15kgf)の 貫入量として記録する。
- 4 次々と荷重を増加して3の操作を繰り返す。荷重の段階は、50N(5kgf)、150N(15kgf)、250N(25kgf)、500N(50kgf)、750N(75kgf)、及び1kN(100kgf)である。
- 5 載荷用クランプが底板に達したらおもりを取り除き、ロッドが足りなければ継ぎ足し、クランプを 50 cm引き上げて固定し、4 の操作を行う。
- 1kN(100kgf)でロッドの貫入が止まった場合には、その貫入量を測った後、そのままハンドルを取り付け、ハンドルに鉛直方向の力が加わらないように回転し、次の目盛線まで貫入させるのに要する半回転数を記録する。なお、これ以後の測定は25cm(目盛線)ごとに行う。ハンドルの回転方向は右回りとし、半回転ごとに一時停止する方法をとり、これを1回と数える。
- | 回転貫入の途中で、貫入速さが急激に増大した場合には、回転を停止して 1kN(100kgf)の荷重だけで貫入するかどうか確かめる。貫入する場合には、貫入が止まったときの貫入量を測定し、 1kN(100kgf)に対する貫入量として記録する。貫入しない場合は、6 に従って操作を行う。
- 8 測定が終わったらおもりを降ろし、引抜き装置によって全ロッドを引き抜き、数を点検し、スクリューポイントの異常の有無を調べる。 SI(国際単位系)を優先し、()内に従来単位を併記

試験器具の詳細



試験結果の記録及び整理

- | 荷重だけによって貫入が進む場合には荷重の大きさとスクリューポイント先端の基準面から貫入 深さを記録する。
- 2 荷重 1kN(100kgf) で、ハンドルの回転によって貫入が進む場合には、半回転数 Na に対応する貫入後のスクリューポイント先端の基準面から貫入深さを記録し、そのときの貫入量 L(cm)を計算する。

貫入量 L に対する半回転数 Na は、次式を用いて貫入量 $100~{
m cm}(1{
m m})$ 当たりの半回転数 Nsw に換算して記録する。

31

$$Nsw = \frac{100}{L} Na$$

Nsw : 貫入量 1m 当たりの半回転数(半回転数/m)

 Na
 : 半回転数(回)

 L
 : 貫入量(cm)

- ◢ 貫入量速さが急激に増大したり減少する場合には、貫入の状況に関する記録を詳しくとる。
- 5 試験結果は、荷重、半回転数、貫入量 1m 当たりの半回転数及び試験状況に関する記事を記録する。 (土質調査法より)

使用計算式

換算 //値とは

スウェーデン式サウンディング試験の Nsw 値と標準貫入試験の N値には下記の関係式が示されており、この計算式より求めた値をいう。

粘性土 N = 0.003 Wsw + 0.05 Nsw (稲田式) 砂質土 N = 0.002 Wsw + 0.067 Nsw (稲田式)

Wsw : 載荷荷重(N)

Nsw : 貫入量 1m 当たりの半回転数(半回転数/m)

一軸圧縮強度(qu)とは

粘性土の柱状供試体を側方拘束のない状態で圧縮した時の、その最大圧縮応力をいう。 スウェーデン式サウンディング試験の Wsw(N)と $\textit{qu}(kN/m^2)$ には、下記の関係式が示されている。

 $qu = 0.045 \% sw + 0.75 \% sw (kN/m^2)$

長期許容支持力度(短期は長期の2倍程度)

 $qa = 30 \times \textit{Wsw} \text{ kN/m}$ 自沈によって貫入した場合 qa = 30 + 0.6 Nsw kN/m 回転によって貫入した場合

Wsw : 載荷荷重(kN)

Nsw: 貫入量 1m 当たりの半回転数(半回転数/m)

砂質土地盤の長期許容地耐力(fe)の目安(短期は長期の2倍程度)

(旧)日本住宅公団:小規模建築物基礎設計の手引きより

 $fe = 8 \text{ N/kN/m}^2$

N : N値

地盤調査報告書内容

≪スウェーデン式サウンディング試験≫

調査概要

調 査 件 名: ザ・フォレスト袖ケ浦 新築工事

調 査 地 住 所: 千葉県袖ケ浦市高谷1番地1-2他

調 査 年 月 日 : 2020 年 3 月 23 日

天 候:曇り時々雨

調 査 目 的: 建設予定建物の基礎工選定資料を得ることを目的とする。

調 査 点 数: 5 箇所

調査依頼:柴田様

調 査 会 社:日本基礎地盤株式会社

調 査 報 告 者: 杉山俊和 [地盤品質判定士・地質調査技士・住宅地盤主任技士]

調 査 責 任 者: 宮内圭太 [住宅地盤技士]

調 査 者: 宮内圭太

立 会 者:地主様

併用調査:無し

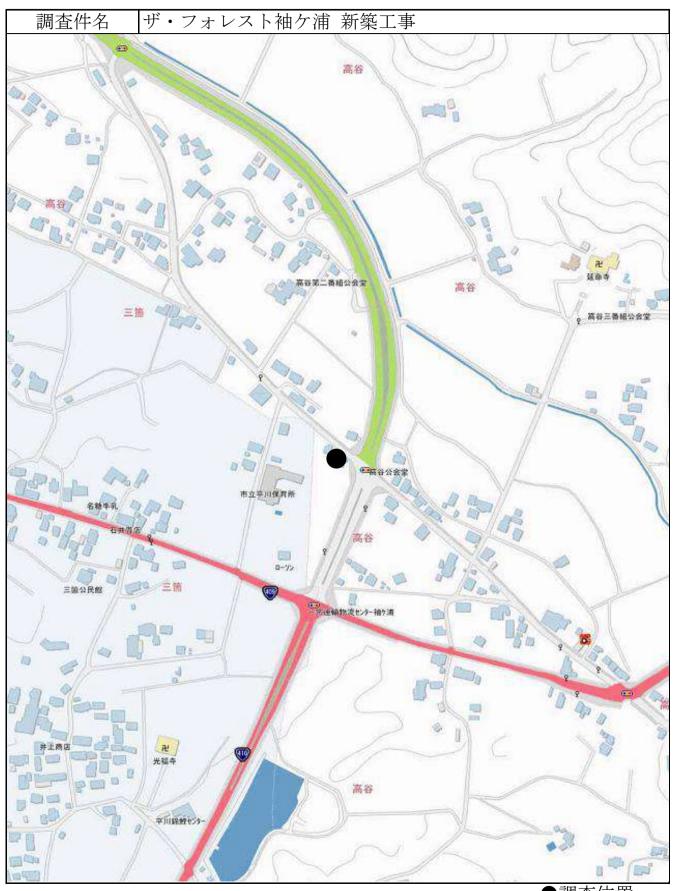
特 記 事 項:新規調査

調査位置情報

調 査 位 置: 東経 140 度 03 分 41 秒

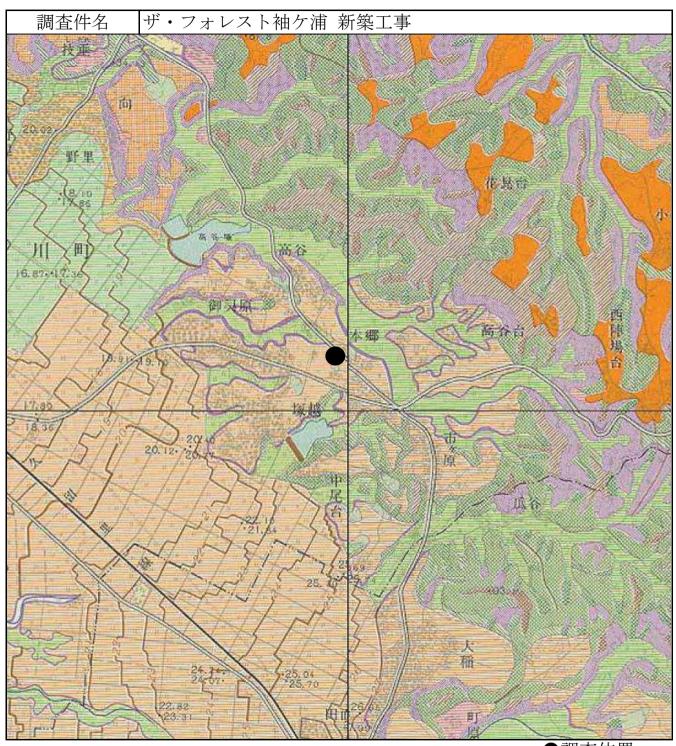
北緯 35 度 23 分 10 秒

調査位置図



●調査位置

地形分類図



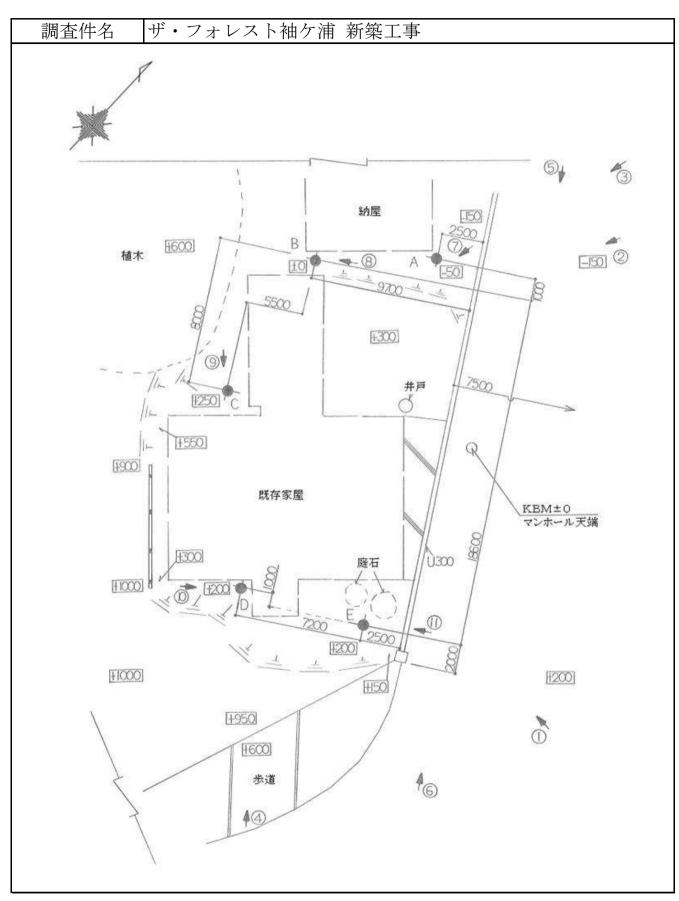
●調査位置

調査地の地形区分

浅い谷

台地や扇状地上の表面に形成された浅い流路跡や浸食谷等の相対的に低い部分をいう。 台地や扇状地上の浅い谷では、集中豪雨時等に一時的に降水が大量に集まって浸水する危険 がある。

調査点位置図



◆ 写真方向

					スウ	フェ ー	デン式 ⁻	サウン	ンディン	グ詞					
調	1 名	ザ・	ザ・フォレスト袖ケ浦 新築工事 測点番号 A												
サウンテ・ィン	かれ名	A		調査	歪地 点	千葉県袖	カケ浦市高谷	·1番地1-	-2他	年	月日	2020 年 03 月 23 日			
標	高	K B M -0.05m 最終			最終貫入深	: ab 5	. 85m		試	験 者	宮内圭太				
水	位		-1.80m			天 候	曇り時	曇り時々雨			方 法	スウェーテ゛ン式サウンテ゛ィン			゛試験
荷 重 Wsw (kN)	半 回 転 数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1 m 当 り の半回転数 N s w		記	事	推 定柱状図	荷 重 W s w (k		貫入量	1m当たりの N s w	半回転数	換 算 N c	許 容 支持力 q a
					音感・感	触貫入状	況 土 質 名	i	0.00 0.25 0.50	0.75	0 50	100 150 2	00 250		kN/m²
1.00	0	0. 25	25	0		ジンワリ	粘性土				i	; ;		3.0	30.0
0.50	0		25	0		ユックリ	粘性土			 ///		1 I 1 I 1 I	1 1 1 1 1 1	1.5	15.0
0.75	0		25	0		ユックリ	粘性土					i i	i i ! !	2.3	22.5
0.75	0	1.00	25	0		ユックリ	粘性土							2.3	22.5
0.75	0		25	0		ユックリ	粘性土					įį		2.3	22.5
0.75	0		25	0		ユックリ	粘性土						 	2.3	22.5
1.00	5	1. 75	25	20			粘性土	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *				ii		4.0	42.0
1.00	30	2.00	25	120			粘土混り砂	 						10.0	102.0
1.00	38	2. 25	25	152			粘土混り砂	· · · · · · ·						12.2	>120
1.00	28	2.50	25	112			粘土混り砂	 					 	9.5	97. 2
1.00	20	2.75	25	80			粘土混り砂							7.4	78.0
1.00	24	3.00	25	96			粘土混り砂	 					 	8.4	87.6
1.00	26	3. 25	25	104			粘土混り砂							9.0	92.4
1.00	20	3.50	25	80			粘土混り砂						!!!	7.4	78. 0
1.00	27	3.75	25	108			粘土混り砂	· · · · · ·					! ! ! !	9.2	94.8
1.00	29	4.00	25	116			粘土混り砂	 					l I ! !	9.8	99. 6
1.00	24	4. 25	25	96			粘土混り砂						! ! ! !	8.4	87.6
1.00	25	4.50		100			粘土混り砂	· · · · ·				į	i i	8.7	90.0
1.00	34	4. 75		136			粘土混り砂	· · · · · · · ·					 	11.1	
1.00	28	5.00	25	112			粘土混り砂) .::···································				<i>j</i> g i	ii Hal	9.5	97. 2
1.00	53		25		ジャリジャ		礫混り砂						10 10 10 10 10 10 10 10	16.2	>120
1.00	145	5.50	25	580	ジャリジャ	ァリ 打撃×10								40.9	>120
1.00	293	5. 75	25	1172			で働き日1つで小							80.5	>120
1.00	180	5.85	10	1800	ジャリジャ	ァリ 打撃×22	一							122.6	>120

					スウ	フェーデ	· ン式 t	ナウ:	ンディン	グ詞	 式験				
調	1 名	ザ・	フォレ	スト袖	ケ浦 新	f築工 事				測点	话番号	В			
サウンテ゜ィン	グ孔名	В		調査	〕地点	千葉県袖ク	葉県袖ケ浦市高谷1番地1-2他					2020 年 03 月 23 日			
標	高	ΚE	K B M 0.00m 最終貫入深さ			5.	5.84m				宮内圭太				
水	位		-2.00m			天 候	曇り時	々雨		試験	う 法	スウェーデン式	サウンテ゛	゚ィンク゜	`試験
荷 重 Wsw	半回転数	意文語 D	貫入量	1m当りの半回転数		記事		推定柱状図	荷 重 W s w (k		貫入量	1m当たりの半回 N s w	転数	換NR	許 容 支持力
(kN)	Na	(m)	(cm)	Nsw	音感・感	触貫入状況	土 質 名	11 1/1 1/2	0.00 0.25 0.50	0.75	0 50	100 150 200	250	N C	q a kN/m²
0.05	0	0. 25	25	0		ユックリ	粘性土					1 1 1 1 1 1	1	0.2	1.5
1.00	0	0.50	25	0		ストン	粘性土						: [3.0	30.0
1.00	0	0.75	25	0		ユックリ	粘性土							3.0	30. 0
1.00	3	1.00	25	12			粘性土						;	3.6	37. 2
1.00	1	1. 25	25	4			粘性土						;	3.2	32. 4
1.00	12	1.50	25	48			粘性土	· · · · · · · · ·						5.4	58.8
1.00	29	1.75	25	116			粘土混り砂							9.8	99.6
1.00	37	2.00	25	148			粘土混り砂							11.9	118.8
1.00	22	2. 25	25	88			粘土混り砂						: -	7.9	82.8
1.00	9	2. 50 2. 75	25 25	36 40			粘土混り砂 粘土混り砂				i i		;	4. 4	51.6
1.00	10	3.00	25	80			粘土混り砂						:	7.4	54. 0 78. 0
1.00	33	3. 25	25	132			粘土混り砂	مبترون					<u> </u>	10.8	109. 2
1.00	37	3.50	25	148			粘土混り砂						i F	11. 9	118.8
1.00	29	3. 75	25	116			粘土混り砂						!	9.8	99. 6
1.00	22	4.00	25	88			粘土混り砂						;	7. 9	82.8
1.00	32	4. 25	25	128			粘土混り砂	المبتعدد المتعدد						10.6	106.8
1.00	26	4.50	25	104			粘土混り砂	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				ii	i	9.0	92. 4
1.00	30	4. 75	25	120			粘土混り砂						:	10.0	102.0
1.00	61	5.00	25	244	ジャリジャ	7 IJ	礫混り砂							18.3	>120
1.00	57	5. 25	25	228	ジャリジャ	₂ IJ	礫混り砂						- 	17.3	>120
1.00	165	5.50	25	660	ジャリジャ	ァリ 打撃×8	礫混り砂							46. 2	>120
1.00	209	5.75	25	836	ジャリジャ	ァリ 打撃×10	礫混り砂	•						58.0	>120
1.00	149	5.84	9	1656	ジャリジャ	ァリ 打撃×14	機混り砂	<u> </u>						13.0	>120

					スウ	フェ	ーデ	· ン式 t	ナウン	ノテ	・イン	グ詞	式験				
調 3	全 名	ザ・	ザ・フォレスト袖ケ浦 新築工事 測点番号 C														
サウンテ゜ィン	ング孔 名	С		調査	Σ地 点	千葉	県袖ケ	ァ浦市高谷1番地1-2他					年 月 日		年 03	月 2	23 日
標	高	KBM +0.25m 最終實			入深さ	± 5.55m					験 者	宮内	圭太				
水	位		-2.10m			天	候	曇り時・	々雨			試験	6 方 法	スウェーテ゛	ン式サウンテ	・・ィンク	゛試験
荷 重 Wsw (kN)	半 回 転 数 N a	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1 m 当 り の半回転数 N s w		記	事		推 定柱状図	W	荷重 sw(k		貫入量	1m当たりの N s w	半回転数	換 算 N c	許容 支持力 qa
					音感・感	触貫	入状況	土 質 名		0.00.0	25 0, 50	0.75	0 50	100 150 2	00 250		kN/m²
1.00	0	0. 25	25	0			クリ	粘性土								3.0	30.0
0.75	0	0.50	25	0			クリ	粘性土							 	2.3	
0.75	0	0.75	25	0			クリ	粘性土						1 1	 	2.3	
0.75	0	1.00	25	0		ユッ	クリ	粘性土								2.3	
1.00	5	1. 25	25	20				粘性土								4.0	
1.00	3	1.50	25	12				粘性土					i	ii	<u> </u>	3.6	
1.00	27	1. 75 2. 00	25 25	28 108				粘性土 粘土混り砂	بمنون:						 	9.2	46. 8 94. 8
1.00	49	2.00	25	196				粘土混り砂				X				15.1	>120
1.00	50	2. 50	25	200				粘土混り砂								15. 1	>120
1.00	17	2.75	25	68				粘土混り砂						<i> X X </i> !!!		6.6	
1.00	40	3.00	25	160				粘土混り砂							 	12.7	>120
1.00	30	3. 25	25	120				粘土混り砂						<i>(84448</i> 2 <i>(86</i>) !		10.0	
1.00	37	3. 50	25	148				粘土混り砂							 	11. 9	
1.00	32	3. 75	25	128				粘土混り砂								10.6	
1.00	43	4.00	25	172				粘土混り砂								13.5	>120
1.00	41	4. 25	25	164				粘土混り砂								13.0	
1.00		4. 50		160				粘土混り砂								12.7	
1.00	40	4. 75		160				粘土混り砂							! !	12.7	>120
1.00	39	5.00	25	156				粘土混り砂								12.5	>120
1.00		5. 25	25		ジャリジャ	₇ IJ		礫混り砂								20.5	>120
1.00	283	5. 50	25	1132			≅×22	礫混り砂				X				77.8	>120
1.00	129	5. 55	5	2580	ジャリジャ	ァリ 打鳴	≅ ×16	磯混り砂								174. 9	>120

					スウ	ァェーデ	ン式も	ナウ:	ンディン	グ記	式験				
調	1 名	ザ・	フォレ	スト袖	ケ浦 新	築工事				測点	番号	D			
ቻ ዕንታ [*] ብ	ング孔 名	D	D 調査地点			千葉県袖ケ浦市高谷1番地1-2他					月日	2020 🕏	軍 03	月 2	3 日
標	高	K B M +0.20m		m d	最終貫入深さ 6.00m				試	験者	宮内圭太				
水	位		-1.90m			天 候	曇り時	曇り時々雨		試験方法		スウェーテ゛ン式サウン:		· *	゛試験
荷 重 Wsw	半 回転 数	貫入深さ D	貫入量 L	1 m 当 リ の半回転数		記事		推定	荷 重 W s w (k		貫入量1	1m当たりの≐ N s w	半回転数	換解化	許 容 支持力
(kN)	Na	(m)	(cm)	Nsw	音感・感	触貫入状況	土 質 名	柱状図		N)		N S W		Nć	q a kN/m²
1.00	0	0. 25	25	0		ユックリ	粘性土		0.00 0.25 0.50	0.75	0 50	100 150 20	0 250 I	3.0	30.0
1.00	0	0.50	25	0		ユックリ	粘性土						 	3.0	30.0
0.75	0	0. 75	25	0		ユックリ	粘性土						į	2.3	22. 5
1.00	2	1.00	25	8			粘性土						 	3.4	34.8
1.00	0	1. 25	25	0		ユックリ	粘性土						i I	3.0	30.0
1.00	0	1.50	25	0		ユックリ	粘性土					<u>;</u>	1	3.0	30.0
1.00	27	1. 75	25	108			粘土混り砂						1	9. 2	94.8
1.00	11	2.00	25	44			粘土混り砂		N. N.		i		į	4.9	56. 4
1.00	27	2. 25	25	108			粘土混り砂						1 1 1	9. 2	94.8
1.00	25	2.50	25	100			粘土混り砂			Ž.			i	8.7	90.0
1.00	15	2. 75	25	60			粘土混り砂						1	6.0	66.0
1.00	39	3.00	25	156			粘土混り砂			X			į	12.5	>120
1.00	22	3. 25	25	88			粘土混り砂							7.9	82.8
1.00	36	3.50	25	144			粘土混り砂						1	11.6	116. 4
1.00	47	3. 75	25	188			粘土混り砂						i	14.6	
1.00	45		25	180			粘土混り砂						!	14.1	>120
1.00	42	4. 25	25	168			粘土混り砂		N N				i	13.3	
1.00	44		25	176			粘土混り砂						1	13.8	
1.00				144			粘土混り砂		N N N N N N N N N N N N N N N N N N N			<i> </i>	i		116. 4
1.00			25	176		11	粘土混り砂							13.8	
1.00			25		ジャリジャ ジャリジャ		礫混り砂		N N	<u> </u>	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			22.4	>120
1.00		5. 50 5. 75	25 25	628			機混り砂 機混り砂							32.8 44.1	>120 >120
1.00					ジャリジャ		礫混り砂		A A A A A A A A A A A A A A A A A A A					41. 7	>120
								7							

	スウェーデン式サウンディング試験													
調	至 名	ザ・	フォレ	スト袖	ケ浦 新	築工事				測点	话番号	E		
サウンテ・ィン	クグ孔 名	E調査地点			登地 点	千葉県袖ケ浦市高谷1番地1-2他					月日	2020 年	03 月	23 日
標	高	K B M +0.20m		最終貫入深さ	6.	57m		試 験 者 宮内圭太						
水	位		-2.00m			天 候	曇り時	曇り時々雨			方 法	スウェーデン式サウンディング試。		
荷 重 Wsw	半 回転 数	貫入深さ D	貫入量 L	1 m 当 リ の半回転数		記事		推定	荷 重 W s w (k		貫入量1	lm当たりの半回転 N s w	数 換	算 許容 直支持力
(kN)	Na	(m)	(cm)	Nsw	音感・感	触貫入状況	土 質 名	柱状図		,		400 450 000 05	, NC	q a kN/m²
0.05	0	0. 25	25	0		ユックリ	粘性土		1 !	U. /3	U 3U	100 130 200 23	0.	2 1.5
1.00	0	0.50	25	0		ユックリ	粘性土						3.	0 30.0
1.00	4	0. 75	25	16			粘性土						3.	8 39.6
1.00	1	1.00	25	4			粘性土						3.	2 32.4
0.75	0	1. 25	25	0		ユックリ	粘性土						2.	3 22.5
1.00	2	1.50	25	8			粘性土					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	3.	4 34.8
1.00	43	1. 75	25	172			粘土混り砂						13.	5 >120
1.00	34	2.00	25	136			粘土混り砂						11.	1 111.6
1.00	60	2. 25	25	240			粘土混り砂						18.	1 >120
1.00	20	2.50	25	80			粘土混り砂					1 1 1 1 1	7.	4 78.0
1.00	30	2.75	25	120			粘土混り砂						10.	0 102.0
1.00	29	3.00	25	116			粘土混り砂						9.	8 99.6
1.00	26	3. 25	25	104			粘土混り砂						9.	0 92.4
1.00	35	3.50	25	140			粘土混り砂						11.	4 114.0
1.00	40	3. 75	25	160			粘土混り砂						12.	7 >120
1.00	37	4.00	25	148			粘土混り砂						11.	9 118.8
1.00	29	4. 25	25	116			粘土混り砂						9.	8 99.6
1.00	38	4.50	25	152			粘土混り砂						12.	2 >120
1.00	42	4. 75	25	168			粘土混り砂						13.	3 >120
1.00	39	5.00	25	156			粘土混り砂						12.	5 >120
1.00	58	5. 25	25	232	ジャリジャ	IJ	礫混り砂						17.	5 >120
1.00	160	5.50	25	640	ジャリジャ	リ 打撃×2	礫混り砂	• • •					44.	9 >120
1.00	32	5. 75	25	128	ジャリジャ	IJ	礫混り砂	• • •					10.	6 106.8
1.00	20	6.00	25	80	ジャリジャ	IJ	礫混り砂	•••					7.	4 78.0
1.00	86	6. 25	25	344	ジャリジャ	IJ	礫混り砂	•					25.	0 >120
1.00	144	6.50	25	576	ジャリジャ	リ 打撃×4	礫混り砂						40.	6 >120
1.00	105	6. 57	7	1500	ジャリジャ	リ 打撃×16	磯混り砂						102.	5 >120

調查敷地観察状況

調査	件名	ザ・フォレスト袖ケ浦 新築工事
事	項	内容
地形	種 別	山地 丘陵地 台地 緩扇状地 扇状地 後背湿地 自然堤防 自然堤防縁辺部 砂州 三角州 湿地 谷底平野 埋積谷 おぼれ谷 埋立地 旧池沼 潟湖跡 河原(砂泥質 砂礫質) 旧河道 海浜 人工海浜 砂丘 砂丘間低地 火山・温泉地帯 浅い谷 開析谷 斜面 平坦化地 盛土地 その他(
調査地	の位置	
		宅地 水田 陸田 畑 植木畑 野原 駐車場 雑木林 山 その他()
造成	以前	野原 水田 陸田 <mark>畑</mark> 植木畑 果樹園 雑木林 山 沼 不明 その他()
造成に		造成後 造成途中 造成前 不明 盛土(m) ~ (m) 不明 盛土経過年数 (年 カ月・不明) 埋土(m) ~ (m) 不明 「 切土(m) ~ (m) 不明 「 」 官公庁造成 民間造成 不明 造成者名() 造成年月(年 月・不明 平地 傾斜地 不陸 その他 ()
地表面	土質 混入物 状態	平地 傾斜地 不陸 その他() 無し 有り (-0.40 m) ~ (+0.75 m) ローム 粘性土 砂質土 粘土 砂 粘土混り 砂混り 礫混り その他() 無し ガラ ガレキ 生ゴミ 伐採した木片 その他() 乾 湿 硬 コンクリート敷 アスファルト敷 ガラの混入(多・少) ガレキの混入(多・少) 陥没している所が認められる その他()
	備考	
既存	家屋	無し 木造1F 木造2F 木造3F 木造モルタル1F 木造モルタル2F プレハブ F RC F 軽量鉄骨造2F その他(F) 築年数(約 50 年 ヵ月・不明) 状況 - 異常なし 新築のため異常なし 基礎、壁に mm ~ mm程度の亀裂あり 基礎に mm ~ mm程度の亀裂あり ◆壁に0.3mm ~ 0.4mm程度の亀裂あり ()側に傾いている ()に亀裂修復の跡あり その他 (
土	留	無し 材質・間知石 大谷石 玉石 RC ブロック 間知ブロック その他() 状態・練積 空積 無し 傾斜角度(90°) 築造経過年数(約 年・ <mark>不明</mark>) 高 さ・敷地より (+0.35 m) ~ (+0.70 m) 道路より (m) ~ (m) 水抜き・無し 有り 水抜きの径(mm) 状況() 状況・異常なし 亀裂あり 孕んでいる 沈下している 波をうっている() 特記事項
擁	壁	無し 材 質- 間知石 大谷石 玉石 RC ブロック 間知ブロック その他() 状 態- 練積 空積 無し 傾斜角度() 築造経過年数(約 年・不明) 高 さ- 敷地より (m)~(m) 道路より (m)~(m) 水抜き- 無し 有り 水抜きの径(mm) 状況() 状 況-異常なし 亀裂あり 孕んでいる 沈下している 波をうっている() 特記事項
地下均	里設物	無し <mark>上水道管 下水道管</mark> ガス管 浄化槽 吸込みマス <mark>井戸</mark> 防空壕 室 不明 その他(
備	考	(

隣接·周辺観察状況

	N 2 11 2 15 Indition 1
調査件名	ザ・フォレスト袖ケ浦 新築工事
事 項	内容
隣接敷地	
阿拉及 放 地	
隣接敷地高低	差 <mark>不明</mark> 有り (m)~(m)
	無し <mark>木造1F</mark> 木造2F 木造3F 木造モルタル1F 木造モルタル2F プレハブ F
	RC F 軽量鉄骨造 F 重量鉄骨造 F その他()
	状況 - 異常なし 新築のため異常なし 基礎、壁に mm ~ mm程度の亀裂あり
近隣建物	基礎に ㎜ ~ ㎜程度の亀裂あり 壁に ㎜ ~ ㎜程度の亀裂あり
	近隣建物は()側に傾いている 隣接建物は()側に傾いている
	()に亀裂修復の跡あり
	その他 (近隣に建物は少なく、異常は見当たらなかった)
	無し
	材 質- 間知石 大谷石 玉石 RC ブロック 間知ブロック その他()
	状 態-練積 空積 無し 傾斜角度() 築造経過年数(約 年・不明)
土留	高 さ- 敷地より (m) ~ (m) 道路より (m) ~ (m)
	水抜き-無し 有り 水抜きの径(mm) 状況()
	状 況-異常なし 亀裂あり 孕んでいる 沈下している 波をうっている()
	無し 無し
1.1.	状態-練積 空積 無し 傾斜角度() 築造経過年数(約 年・不明)
擁 壁	高 さ- 敷地より (m) ~ (m) 道路より (m) ~ (m)
	水抜き-無し 有り 水抜きの径(mm) 状況()
	状 況-異常なし
河川・水路等	
の位置	調査敷地より(m) の付近に()あり 名称()
–	7 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -
備考	

道路及び搬入路状況

事	項	内容
		舗装 未舗装 コンクリート舗装 幅員(7.50 m) 最小幅員(m)
道	路	状 況- <mark>異常なし</mark>
		その他 (
		無し <u>L字溝 (mm)(mm) U字溝 (300 mm)(mm)</u>
側	溝	状 況- <mark>異常なし</mark> フタなし 歪んでいる 壊れている 亀裂がある 埋まっている
		その他 (
敷地迄の	般入可車両	軽車両 1 t 車 2 t 車 3 t 車 4 t 車 <mark>8 t 車以上</mark> 不可 -手運搬(約 m)
敷地内擦	込可車両	軽車両 1 t 車 2 t 車 3 t 車 4 t 車 8 t 車以上 不可 -手運搬(約 m)
		<mark>無し</mark>
		塀 (RC 大谷石 ブロック 万年 トタン 板 塩ビ波板 その他())
	勺搬入	土 留(間知石 大谷石 玉石 RC ブロック 間知ブロック 板 その他())
障	害 物	擁 壁(間知石 大谷石 玉石 RC ブロック 間知ブロック 板 その他())
		その他(生垣 門柱 法 防風林 植木 カーポート 電線 その他())
		道路と敷地の高低差-道路より(-0.05 m)~(+0.10 m)
道路	規制	無し 一方通行 時間規制 (時 分~ 時 分) 車両規制()
備	考	

調査結果

調 査 件 名 : ザ・フォレスト袖ケ浦 新築工事

調査地住所 : 千葉県袖ケ浦市高谷1番地1-2他

調査年月日 : 2020年3月23日

今回の静的貫入試験は、建築予定敷地の地盤性状を把握する為、5測点試験を実施した。 調査GL-1.50m~-1.75m付近迄は、粘性土層の堆積と推察され、B調査点は、比較的 安定した強度を示しているが、他の調査点は、おもりによる荷重Wsw0.50kN~0.75kN 自沈が介在する軟らかい状態にある。粘性土層の下部は、調査GL-4.75m~-5.00m付近迄、 粘土混じり砂層の堆積と推察され、安定した強度分布を示している。粘土混じり砂層下部は、 締まった良好な強度分布を示す礫混じり砂層の堆積と推察され、打撃を加えながら貫入を 試みたが、調査GL-5.55m~-6.57mにて、貫入不能に達した。 尚、地下水位は、調査GL-1.80m~-2.10m付近に推定される。

以上より、今後、住宅などの低層建物の建築をする場合は、軟弱部が認められる地盤で ある為、圧密沈下により、建築予定建物の沈下の可能性が考えられる。従って、設計士と 打合せを行い、地盤補強策の検討が必要と考えられる。

地盤補強方法の検討

0	杭状地盤補強工法の採用により、建物の安全をはかる事が良策と判断します。
0	柱状地盤改良工法の採用により、建物の安全をはかる事が良策と判断します。
	既成摩擦杭等による検討が別途必要になります。

		九 勿 一 共
1.全	景	
2.全	景	
3.全	景	

	况 场 与 县	
4.全 景		
5.前面道路		
6.前面道路		

	70 · 30 J 75
7.A点測定状況	アスルド州(南市東京 福川市中高高 徳田以宅 スフェーアング カウンティング 野ウンティング 別 点 A 単 月 心 日 日本種関地館様式で
8.B点測定状況	アルドルト ルトが作品は山水 アランテングは 利 点 B
9.C点測定状況	了。

10.D点測定状況	



11.E点測定状況

